

第3期科学技術基本計画に基づく強力な科学技術振興のための 「推進プラン2007」

平成19年1月30日

男蔵 佑樹彦子子郎
益泰 直悦優通一
澤師 庶村山山澤
相薬本 奥庄原郷金

< はじめに >

第3期科学技術基本計画を策定した去年は、「第3期基本計画を本格軌道に乗せる改革プラン2006」を提示し、以下のような課題に取り組んできた。

「イノベーション創出総合戦略」策定

同戦略に沿った「世界トップレベルの研究拠点づくり」推進

今後、真に世界トップレベルの拠点が目に見える形で実現するよう引き続きフォローアップ

科学技術振興の隘路となる制度改革

今後、女性、若手、海外の優れた頭脳など科学技術創造の原点たる多様性を活かすための制度改革や、治験・臨床研究の加速のための制度改革など、工程表に盛り込まれた66項目を着実に実行するとともに、更なる改革の推進

< 推進プラン2007 >

平成19年度は第3期科学技術基本計画の3年目となる平成20年度の政策の立案に取り組むこととなる。5年間の政府研究開発投資総額規模「約25兆円」に込められた国民の期待に応えるべく、「イノベーションの加速」、「イノベーションの担い手である人の重視（人への投資）」に向け、以下の課題を重点に政策展開を図るべきである。

「イノベーション25」の科学技術政策ロードマップ作成

- ・ 2月末の「イノベーション25」の中間まとめを受けて、5月を目途にイノベーション創出に向けた科学技術政策の戦略的なロードマップを策定

研究資金制度改革など更なる制度改革の推進

- ・ 長期的視点を持った研究、真に独創的でインパクトのある成果が期待できる研究への投資が促進されるようなシステムの整備や公正・透明で効果的・効率的な資金の配分・使用を推進するための研究資金制度改革
- ・ 独立行政法人の人件費制約問題等への対応

次代の科学技術を担う人材の育成・確保

- ・ 小・中・高等学校の理数教育に関する課題を明確化し、その抜本的解決に向けた戦略づくり
- ・ 優れた研究者、技術者など、イノベーション創出や国際競争力を担う人材を確保するため、大学、大学院、高等専門学校等における人材育成機能の強化
- ・ 理工系の魅力を高めるための官民をあげた社会環境づくり

国際貢献の充実に向けた科学技術国際協力戦略の策定

- ・ ボトムアップでの国際協力に加え、国際社会で日本が頼りがいのあるパートナーとなるのに必要な科学技術国際協力プロジェクトを我が国全体を俯瞰しつつ企画、実施する体制を構築

PDCAサイクルが国民に分かりやすく見える仕組みの確立・実行

- ・ 第1期、第2期科学技術基本計画の投入資源に対する効率性を含めた成果の検証を踏まえ、「イノベーションの創出及び加速」を着実に実行していくPDCAサイクルを確立。同サイクルの過程及び結果を俯瞰的に可視化。
(その際、イノベーション創出の観点も正当に評価できる多元的な研究評価体制を実現)